

## 平成30年度事業計画

### 1 基本方針

現在、我が国は人生100年の超高齢化社会に突入しております。

柏市の高齢化率も2020年には、26.3%になると推計され、その後も高齢化率が上昇していくと予測されております。

そのなかで、国の政策である「高齢社会対策大綱」、「ニッポン一億総活躍プラン」、「働き方改革実行計画」に示された、高齢者の就業機会を創る取り組みを推進するシルバー人材センターには大きな期待が寄せられております。

その期待に応えるべく、会員の増強を図り、就業機会の確保及び拡充のため、あらゆる方策を行ってまいります。特に、女性会員の拡大・活躍は重要であると考えております。

更には、就業することに加え、会員同士が情報交換を行える場の提供にも取り組んでまいります。

また、今年度は第3次基本計画の初年度となります。これまでの第1次、第2次基本計画の実績を踏まえ、基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、役職員一同が連携し、活力ある地域社会づくりに寄与し、常に信頼されるシルバー人材センターを目指してまいります。

### 2 事業計画

#### (1) センターの組織体制の強化

##### ① 総会出席率の向上

総会出席率の向上を図るため、地域班、広報誌等で積極的に参加を促進し、委任状及び議決権行使書の提出を含め、85%以上の出席率を目標とする。

##### ② 班会議参加率の向上

地域班会議は、会員同士が意思疎通を図り、センターへの意見や要望等を協議する場であり、会員研修やチラシ配布等を通じ、班会議参加への意識付けを行い、参加率30%を目標とする。

また、班活動の負担軽減や活動の活性化を目的に、構成人員

15名程度の班を編成し、試行を開始する。

③ 班会議開催率の向上

地域班会議の開催回数を、合同班会議も含め、各班年2回、全体で90回開催を目標とする。

④ 地区別就業相談会の開催

定期的な未就業相談日を毎月1回設置するとともに、地域へ出張した未就業相談会を8回以上実施する。

⑤ 職群班活動の推進

各職群班の自主的活動を推進し、事業拡大に資するため、定期的な職群班会議及び研修を開催し、会員同士の連携を深め、情報の共有化を図る。

ア、職群班会議

パソコン班6回、植木班12回、除草班4回、駐輪場班4回、福祉・家事援助サービス班2回の会議をそれぞれ開催する。

イ、職群班研修

植木剪定講習2回、除草刈払機講習1回、駐輪場接遇講習1回の研修をそれぞれ開催する。

(2) 事務局体制の充実・強化

① 事務局組織の強化

事務局組織の強化を図るために、業務の内容及び指揮命令系統を明確にし、職員の昇進制度を検討する。

② 事務局機能の充実

役員と事務局職員が意見を出し合い、情報の共有化や方向性の統一を図り、事務局機能の充実及び活性化に繋げる。

③ 他センターの情報収集

東葛地区シルバー人材センター連絡会議や県内7市シルバー人材センター意見交換会等に参加し、近隣のセンターや県内のセンターと連携を保ち、情報収集に努める。

(3) 会員の拡充と会員研修の充実

① 会員の拡大

会員拡大に向けた、地域限定の説明会や駅周辺施設での説明会を開催する。特に、女性会員の拡大を図るため、女性限定説

明会や女性交流会等を開催する。また、柏市生涯現役促進協議会のセミナーや大手コンビニの就労説明会への参加、チラシの配布、ポスティング等を行いセンターのPRに努める。

更に、柏市と連携を図り、様々な施策を行い、会員拡大に繋げ、平成29年度末の会員数より100名増を目指す。

#### ②ホームページの更新及び内容の充実

センターへ未加入で対象となる市民に対し、入会動機に繋がるニュースや、会員がセンターの現状を理解できるような内容の掲載を適宜行い、掲載内容の充実化を図る。

#### ③センター広報のDVD（リニューアル）の製作準備

センター活動の新たな側面や、動向等の素材の収集を進める。

#### ④広報紙「ゆずりは」と柏シルバーだより編集体制の充実

これまで会員、地区に寄り添った編集を心掛けながら展開を実施。今後も会員ファーストを念頭に、更に推進していく。

#### ⑤研修計画の策定と研修メニューの開発

会員の就業意識の改善と顧客満足度の向上を目指し、植木班等を対象とした植木剪定講習会、除草班等を対象とした刈払機取扱講習会、駐輪場班等を対象とした接遇研修会等を企画し、実施する。また、75歳以上の会員を対象に、就業に必要な体機能把握の支援を図るため、運動機能・認知機能測定を実施する。

派遣就労に必要な能力を習得するため、千葉県シルバー人材センター連合会が主催する各種技能講習会の周知に努め、受講者の拡大を図り、支援する。これらの研修等について、関係部会と連携を図りながら実施に向けて進める。

### (4) 就業機会の確保・拡大

#### ①シルバー人材バンク「輝」の活用方法

シルバー人材バンク「輝」は、就業機会拡大のため、第一次登録を行ったものの、登録職種項目の整合性やデータの活用方法に課題が多いことから、平成29年9月をもって一時中断とした。以前に収集したデータは、会員情報管理システムに移行しているが、今後の活用方法、登録の再開等について検討を進める。

## ②家事援助事業の推進

事業部会と女性部会の協力のもと、福祉・家事援助事業の拡充を図る。

## ③請負・委任及び派遣事業の拡充

請負・委任及び派遣就業の実績拡大と新たな就業場所の確保・提供に努め、平成29年度末の請負・委任契約実績金額の103%増、派遣契約実績金額の119%増を目標とする。

## ④独自事業の充実

シルバー学び隊事業は、課題を統一するため、実施要領を策定し、適正な事業の実施を推進する。また、事業開始から2年が経過した空き家管理事業は、引き続き受注の獲得に努めるとともに、受注拡大策の検討を行う。

## ⑤新規事業の検討

会員が培った知識・経験を活かせる新規事業の検討を進めるとともに、先進センターの調査や研究を行う。

## ⑥顧客満足度の向上

契約書に業務仕様書を加え、依頼内容と作業内容の誤差を防ぎ、顧客満足度の向上に繋げる。

## ⑦計画的な発注者訪問

大口顧客のリストアップを行い、50社以上の発注者に対し、計画的な訪問を行う。

## ⑧適正就業の確保

新規契約時に「適正就業の自主点検表」を活用し、適正な就業環境の確保に努めるとともに、発注者には、「適正就業ガイドライン」遵守の徹底を図る。

## (5)安全管理の推進

### ①安全委員会の機能強化

安全委員会を年6回開催する。委員会では、安全パトロールの実施や事故発生の原因調査を行い、会員へフィードバックし、情報共有化を図る。また、新入会員には入会説明会や新入会員研修のなかで、安全就業と事故防止の周知徹底を図る。

広報紙を通じて安全標語を募集し、全会員の安全就業への意識向上に繋げる。

## ② 定期的な安全パトロールの実施

安全委員会と安全パトロール員は、定期的に就業場所を巡回して作業環境、作業実態を確認し、必要な安全指導を行う。

## ③ 事故の削減

事故発生事案や、事故分析結果、安全に関する情報等を適宜広報紙等に掲載し、会員への情報提供を図る。また、全会員を対象に、危険予知訓練等の安全研修を年4回開催し、更なる会員の安全就業への意識向上に努め、前年度の75%削減を目標とする。

## ④ 健康診断書の提出

就業会員の健康管理を促進するため、就業規程で定められている健康診断の受診及び健康診断書（写）の提出を、広報紙等を通じて徹底する。

# (6) 経営及び事業運営の基盤整備

## ① 会員と役員・事務局職員の連携強化

地域班、理事会等の活動を通じ、意見交換の場を設け、会員と役員・事務局職員の連携をとり、意思統一を図り、組織全体の連携強化に繋げる。

## ② 専門部会の所管事項整理・再編

効率的な事業運営を進めるため、各部会の所管事項を整理し、部会の統合を含めた再編成を検討する。

## ③ 経営視点での事業運営

事業運営の安定化を図るため、補助金と受注拡大による事務費収入の安定的な確保に努める。また、徹底した顧客管理を行い、顧客満足度と契約高の向上を意識し、費用対効果を考慮した事業運営を行う。

# (7) 地域社会への貢献

## ① 地域イベントへの積極的な参加

会員拡大とセンターのPRのため、柏まつり（柏おどりコンテスト）や地域の夏祭り、地域のボランティア活動等に積極的に参加する。

## ② シルバーイベントの開催

柏市シルバー人材センターが主催するイベントを企画し、会

員の知識や発注者の力を活用したイベントを年1回開催する。

③地域との連携

柏市、商工会議所、東京大学高齢社会研究機構等と様々な機会を通じて連携を深め、地域社会に貢献する。

④会員と市民の交流推進

センターの会員と市民の交流を深めるため、シルバーサロンを様々な地域で試行的に実施する。